

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

各地区では連合自治会、地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)、地区民生委員児童委員協議会(以下、民児協という)をはじめ、地域住民の方々の地域福祉活動への意識が高く、支えあいの取り組み等が活発に行われています。また各地区の第3期地域福祉保健計画では連合自治会、地区社協、民児協による三位一体の活動が進められています。その一方で、担い手の高齢化や人材不足が課題となっています。さらに住民組織の団体をはじめとして福祉・医療施設から、高齢者の生活支援や認知症当事者への支援の関心が高まっています。

今後は、第3期地域福祉保健計画の振り返りから第4期地域福祉保健計画の策定を進め、世代や障害の有無を問わず全ての地域住民が孤立せずに暮らせるような地域を目指し、地域ケアプラザや区役所、区社協等の専門職が地域住民の方々と一体となった地域づくりを進めていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	本年度は第3期地区別計画の最終年度となります。三ツ境地区・宮沢地区・瀬谷第四地区の計画の推進母体と一体となって振り返りを十分にいきます。振り返りから抽出された新たな課題や継続的課題解決を含め、発展的な活動が広がるように、第4期地区別計画策定に向けて地区支援チームと連携を強化し取り組みます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた瀬谷区行動指針」が更新時期を迎えたため、「介護予防」、「在宅介護・医療連携」、「認知症対策」、「生活支援」の各分野の策定部会へ参画し、現指針の振りかえり、次期指針の策定に向けた課題共有・検討等を行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症カフェについて、地域のボランティアや施設、専門職とともにコンセプトの検討や担い手の確保等、立ち上げに向けた取組を行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会人となる年齢層の障害者と地域住民と交流する場を提供し、当事者がお住いの地域での社会参加の促進を図ります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のケアマネジャーを対象として、利用者の強みや希望を理解した上でその人らしさを発揮できるケアマネジメントの実践力向上に向けた取組を行います。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・担当地区の地域福祉保健計画の振り返りは、コロナ禍で機会の設定が困難であったものの、少人数制や二部制など新しい生活様式に合わせた開催形式の提案や調整を行い、年度末に振り返りを計画しています。それらは地区支援チームとチーム会議などで随時連携をとり対応にあたりました。

・「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた瀬谷区行動指針」は12月に「介護予防」の策定部会へ参画し、区役所、区社協、区内地域ケアプラザとともに現指針の振り返り、課題共有や検討等を行いました。「在宅介護・医療連携」、「生活支援」、「認知症」の各策定部会は2月以降の開催時に参画予定です。

・コロナ禍であったため各認知症カフェ立ち上げの話は停滞しており、年度内の協議はできませんでした。コロナウイルスの感染状況を見ながら再検討します。

・障害児・者余暇支援の自主事業「スタイルF」は新しい生活様式に合わせて屋外活動や飛沫の飛ばない音楽プログラムなどに変更し、継続的に開催しました。その結果、地域住民や事業所、他区から問い合わせがあり、活動の幅が広がりました。「三ツ境住みよいまちづくり推進委員会」や「宮沢まちづくり推進委員会」、「瀬谷第4地区社会福祉協議会」などのメンバーが事業に参加し、地域団体のキーマンへ障害理解を伝えることができ、関心を得ることができました。

・子育て世代が地域で孤立しないように、子育て団体と連携し情報を発信したり、新しい生活様式に合わせた交流の場を提供しました。

・居宅介護支援事業所の管理者ならびに主任ケアマネジャー向けに「新型コロナウイルスの基礎的知識と対応の現状を学ぶ機会」を提供するとともに医療と介護が連携したケアマネジメントの実践に向けて、瀬谷区在宅医療相談室との共催で事例検討会を開催しました。

区からのコメント

・コロナのため地域住民とつながる機会が減りましたが、機会をとらえて積極的に出向いたことで、担い手からの相談が増え、新たなつながりもあったようです。「新しい生活様式」を踏まえ、事業実施方法等を工夫して事業を継続することにより、参加者から相談を受けることができています。引き続き積極的に取り組んでいただければと思います。

・地域のサロンが休止となり、日常生活動作や認知機能の低下を感じる地域住民が多く見られるなか、『「3つの密を回避」した地域活動の再開例』の作成し、飛沫防止用の衝立ポールなども活用して、地域活動の再開に向けて地域活動団体への助言を行っていただきました。

・障害児・者余暇支援の自主事業「スタイルF」は、コロナのもとで事業形式を工夫して継続的に開催しており、活動の輪が広がり地域の障害理解につながっています。

・介護者のつどいについて、コロナのもとで継続して開催するとともに、内容を工夫して参加者の参加意欲向上を図りました。今後も介護者への支援を行い、対象者が安心して生活できるよう取り組んでいただくことを期待しています。

・日常生活圏域における地域包括ケアシステム構築の中心としてケアプラザ内の職種間はもとより、関係機関や地域の関係者等と連携を図り、取組を進めていただくようお願いいたします。

令和2年度 横浜市ニッ橋地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>1 地域ケアプラザは横浜市の指定管理施設であることを認識し、地域住民、団体、事業所等に対して公正・中立な立場で業務を行います。</p> <p>2 地域包括支援センター等で「事業所の選択」に係る相談等を受けた場合は相談者の意思を尊重し、原則として事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けます。</p> <p>3 介護保険サービス事業所等に対しても事業者や利用者に対して不利益にならないよう幅広い情報提供を行います。</p>	<p>1 年度の初めの職員全体研修にて、コンプライアンス研修、個人情報保護研修を実施し、地域の方々や事業所等との信頼関係を重視した施設作りを努めます。</p> <p>2 苦情受付体制やご意見箱の設置により利用者本位の組織作りを努めます。</p>
実績	<p>1 地域ケアプラザは横浜市の施設であることを認識し、地域住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で業務に取り組みました。</p> <p>2 特に地域包括支援センター等で「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、相談者の意思を尊重し、原則として事業所の一覧を提示する等、ホームページの活用をフルに行い複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けました。</p> <p>3 介護保険サービス事業者等に対しても事業者や利用者に対して不利益にならないよう、幅広い情報提供を行いました。</p>	<p>1 コンプライアンス研修、個人情報保護研修を第1回職員全体研修において実施しました。コンプライアンス推進ハンドブックを作成し、全職員が携帯し日々コンプライアンスへの意識を持ちました。事故・個人情報漏洩に関しては自施設の事例のみでなく、他施設での事例がある場合にも、朝夕のミーティング時や各部門会議にて情報共有を行い、発生防止に努めました。</p> <p>2 苦情受付体制のもと、頂いた苦情は所内はもちろんのこと法人本部にあげ共有をはかり再防止に役立てました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>1 利用者本人の役割や強みを意識した達成可能な目標のケアプラン作成を行います。</p> <p>2 委託契約している居宅介護支援事業所に対し、地域とのつながり、インフォーマルサービスを積極的に活用できるように意識付けを行います。</p>	<p>1 住み慣れた地域で自立した日常生活ができることを目標に居宅サービス計画を作成します。</p> <p>2 医療機関、介護保険事業所、地域資源等と連携を図り、多様な事業者から効率的にサービスが提供されるように調整し、常にご利用者の立場で公正中立な居宅サービス計画を作成します。</p>
利用料金・実費負担		
職員体制	<p>主任ケアマネジャー（管理者） 1名（常勤兼務） 社会福祉士 1名（常勤兼務） 介護支援専門員 2名（非常勤専従2名）</p>	<p>管理者 1名（常勤兼務） 介護支援専門員 4名 (常勤兼務1名、常勤専従1名、非常勤専従2名)</p>
契約者数	202名	108名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)																																																																																																																
目標	<p>1 利用されるお一人お一人の生き方を大切にし、その人らしく生き活きと健やかに過ごせるようにサービスを提供いたします。</p> <p>2 家族に対しても、介護疲れの軽減をはじめ、介護技術や介護上の相談ができる、安心して身近な窓口となるよう心がけます。</p> <p>3 地域に開かれた施設として、ボランティア活動の受け入れを積極的に行い交流を広げていきます。また、各部門や他機関との協力・連携を図り、職員一人ひとりが専門職として地域社会の資源となるように努めます。</p> <p>4 デイサービスが利用者の在宅生活を支える担い手の1つとなるよう、身体・精神・環境等、あらゆる面における状況的確な把握に努めます。「専門職としての知識」と「思いやり」をもって、利用者が必要としていることは何かを正しく理解し受け止め、実現に向</p>																																																																																																																		
実施体制	<p>【実施日数】359日（年末年始6日間休み）</p> <p>【提供時間】10:15～15:20</p> <p>【定員】31名</p>																																																																																																																		
利用料金・実費負担	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>(1割負担)</td> <td>(2割負担)</td> <td>(3割負担)</td> </tr> <tr> <td>《要介護1》</td> <td>602円</td> <td>1,203円</td> <td>1,804円</td> </tr> <tr> <td>《要介護2》</td> <td>711円</td> <td>1,422円</td> <td>2,133円</td> </tr> <tr> <td>《要介護3》</td> <td>820円</td> <td>1,640円</td> <td>2,460円</td> </tr> <tr> <td>《要介護4》</td> <td>930円</td> <td>1,859円</td> <td>2,789円</td> </tr> <tr> <td>《要介護5》</td> <td>1,039円</td> <td>2,078円</td> <td>3,117円</td> </tr> <tr> <td>加算額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《入浴》</td> <td>54円</td> <td>108円</td> <td>161円</td> </tr> <tr> <td>《個別機能訓練加算Ⅱ》</td> <td>60円</td> <td>120円</td> <td>180円</td> </tr> <tr> <td>《体制強化》</td> <td>7円</td> <td>13円</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>《介護職員処遇改善加算Ⅰ》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1割負担)</td> <td>(2割負担)</td> <td>(3割負担)</td> </tr> <tr> <td>《要支援1》</td> <td>1775円</td> <td>3549円</td> <td>5323円</td> </tr> <tr> <td>《要支援2/週1回程度》</td> <td>1775円</td> <td>3549円</td> <td>5323円</td> </tr> <tr> <td>《要支援2》</td> <td>3638円</td> <td>7275円</td> <td>10912円</td> </tr> <tr> <td>加算額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《運動器機能向上加算》</td> <td>242円</td> <td>483円</td> <td>724円</td> </tr> <tr> <td>《体制強化》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(要支援1)</td> <td>26円</td> <td>52円</td> <td>78円</td> </tr> <tr> <td>(要支援2/週1回程度)</td> <td>26円</td> <td>52円</td> <td>78円</td> </tr> <tr> <td>(要支援2)</td> <td>52円</td> <td>103円</td> <td>155円</td> </tr> <tr> <td>《介護職員処遇改善加算Ⅰ》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)	《要介護1》	602円	1,203円	1,804円	《要介護2》	711円	1,422円	2,133円	《要介護3》	820円	1,640円	2,460円	《要介護4》	930円	1,859円	2,789円	《要介護5》	1,039円	2,078円	3,117円	加算額				《入浴》	54円	108円	161円	《個別機能訓練加算Ⅱ》	60円	120円	180円	《体制強化》	7円	13円	20円	《介護職員処遇改善加算Ⅰ》				所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算				《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》				所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算					(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)	《要支援1》	1775円	3549円	5323円	《要支援2/週1回程度》	1775円	3549円	5323円	《要支援2》	3638円	7275円	10912円	加算額				《運動器機能向上加算》	242円	483円	724円	《体制強化》				(要支援1)	26円	52円	78円	(要支援2/週1回程度)	26円	52円	78円	(要支援2)	52円	103円	155円	《介護職員処遇改善加算Ⅰ》				所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算				《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》				所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算					
	(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)																																																																																																																
《要介護1》	602円	1,203円	1,804円																																																																																																																
《要介護2》	711円	1,422円	2,133円																																																																																																																
《要介護3》	820円	1,640円	2,460円																																																																																																																
《要介護4》	930円	1,859円	2,789円																																																																																																																
《要介護5》	1,039円	2,078円	3,117円																																																																																																																
加算額																																																																																																																			
《入浴》	54円	108円	161円																																																																																																																
《個別機能訓練加算Ⅱ》	60円	120円	180円																																																																																																																
《体制強化》	7円	13円	20円																																																																																																																
《介護職員処遇改善加算Ⅰ》																																																																																																																			
所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算																																																																																																																			
《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》																																																																																																																			
所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算																																																																																																																			
	(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)																																																																																																																
《要支援1》	1775円	3549円	5323円																																																																																																																
《要支援2/週1回程度》	1775円	3549円	5323円																																																																																																																
《要支援2》	3638円	7275円	10912円																																																																																																																
加算額																																																																																																																			
《運動器機能向上加算》	242円	483円	724円																																																																																																																
《体制強化》																																																																																																																			
(要支援1)	26円	52円	78円																																																																																																																
(要支援2/週1回程度)	26円	52円	78円																																																																																																																
(要支援2)	52円	103円	155円																																																																																																																
《介護職員処遇改善加算Ⅰ》																																																																																																																			
所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算																																																																																																																			
《介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ》																																																																																																																			
所定単位数に(Ⅱ)1000分の10を乗じた単位数を加算																																																																																																																			
職員体制	<p>生活相談員5名 (常勤兼務3名、非常勤兼務2名)</p> <p>介護職員14名 (常勤兼務3名、非常勤兼務11名)</p> <p>看護職員4名(非常勤兼務)</p>																																																																																																																		
契約者数等	<p>【延べ利用者数】7548名</p> <p>【契約者数】78名</p>																																																																																																																		

令和2年度「ニッ橋地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,759,525		19,759,525	17,862,890	1,896,635	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	2,047,500	0	2,047,500	48,029	1,999,471	
印刷代	70,000		70,000	40,382	29,618	
自動販売機手数料			0		0	
その他	1,977,500		1,977,500	7,647	1,969,853	法人負担分
その他	△ 1,977,500		△ 1,977,500		△ 1,977,500	
収入合計	19,829,525	0	19,829,525	17,910,919	1,918,606	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,122,000	0	11,122,000	9,504,705	1,617,295	
本俸	8,000,000		8,000,000	7,079,942	920,058	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	778,386	521,614	
手当計	1,723,000		1,723,000	1,560,304	162,696	
健康診断費	15,000		15,000	10,176	4,824	
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	6,750	3,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	73,000		73,000	68,528	4,472	
その他	1,000		1,000	619	381	
事務費	2,693,000	0	2,693,000	2,275,993	417,007	
旅費	30,000		30,000	3,394	26,606	
消耗品費	600,000		600,000	326,113	273,887	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	41,418	8,582	
通信費	250,000		250,000	232,269	17,731	
使用料及び賃借料	450,000	0	450,000	25,590	424,410	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	450,000		450,000	25,590	424,410	
備品購入費	200,000		200,000	19,118	180,882	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	12,000		12,000	13,951	△ 1,951	
職員等研修費	20,000		20,000	4,888	15,112	
振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
リース料	200,000		200,000	0	200,000	
手数料	5,000		5,000	21,870	△ 16,870	
地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	
その他	841,000		841,000	1,587,382	△ 746,382	
事業費	616,000	0	616,000	46,160	569,840	
運営協議会経費	42,000		42,000	6,600	35,400	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	504,000		504,000	39,560	464,440	
その他	70,000		70,000	0	70,000	
管理費	3,473,000	0	3,473,000	3,306,294	166,706	
光熱水費	1,200,000		1,200,000	1,261,327	△ 61,327	
清掃費	950,000		950,000	885,494	64,506	
機械警備費	220,000		220,000	228,999	△ 8,999	
設備保全費	903,000	0	903,000	921,302	△ 18,302	
空調衛生設備保守	350,000		350,000	349,171	829	
消防設備保守	30,000		30,000	21,841	8,159	
電気設備保守	55,000		55,000	64,566	△ 9,566	
害虫駆除清掃保守	25,000		25,000	24,385	615	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	443,000		443,000	461,339	△ 18,339	
共益費	0		0	0	0	
その他	200,000		200,000	9,172	190,828	
修繕費	474,000	307,387	781,387	781,387	0	予算：指定額
公租公課	1,249,025	0	1,249,025	950,470	298,555	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,249,025		1,249,025	950,470	298,555	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	202,500	100,000	302,500	370,470	△ 67,970	駐車場賃料(202,500)、WiFi整備(100,000)
支出合計	19,829,525	407,387	20,236,912	17,235,479	3,001,433	
差引	0	△ 407,387	△ 407,387	675,440	△ 1,082,827	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	504,000	0	504,000	39,560	464,440	
自主事業 収支	△ 504,000	0	△ 504,000	△ 39,560	△ 464,440	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「ニッ橋地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,596,093		23,596,093	17,801,255	5,994,838	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,683,000		1,683,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,683,000		1,683,000	286,550	1,396,450	
収入合計	31,228,093	0	31,228,093	23,836,805	7,391,288	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,209,000	0	27,209,000	24,235,731	2,973,269	
本俸	16,500,000		16,500,000	11,255,850	5,244,150	
社会保険料	3,070,000		3,070,000	1,558,034	1,511,966	
手当計	3,770,000		3,770,000	7,273,900	△ 3,503,900	
健康診断費	36,000		36,000	23,607	12,393	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	20,250	9,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,800,000		3,800,000	4,102,234	△ 302,234	
その他	3,000		3,000	1,856	1,144	
事務費	1,661,000	0	1,661,000	667,752	993,248	
旅費	100,000		100,000	3,968	96,032	
消耗品費	200,000		200,000	24,080	175,920	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
通信費	300,000		300,000	197,534	102,466	
使用料及び賃借料	250,000	0	250,000	9,417	240,583	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	250,000		250,000	9,417	240,583	
備品購入費	300,000		300,000	5,082	294,918	
図書購入費	35,000		35,000	0	35,000	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	8,234	1,766	
職員等研修費	50,000		50,000	796	49,204	
振込手数料	7,000		7,000	0	7,000	
リース料	300,000		300,000	0	300,000	
手数料	20,000		20,000	11,250	8,750	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	39,000		39,000	407,391	△ 368,391	
事業費	1,255,000	0	1,255,000	720,164	534,836	
協力医	630,000		630,000	168,000	462,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	156,000		156,000	189,129	△ 33,129	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	97,128	56,872	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	265,907	49,093	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	924,000	0	924,000	878,880	45,120	
光熱水費	320,000		320,000	335,289	△ 15,289	
清掃費	278,000		278,000	235,384	42,616	
機械整備費	65,000		65,000	60,873	4,127	
設備保全費	241,000	0	241,000	244,897	△ 3,897	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	92,817	7,183	
消防設備保守	6,000		6,000	5,805	195	
電気設備保守	15,000		15,000	17,162	△ 2,162	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000	6,481	△ 481	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	114,000		114,000	122,632	△ 8,632	
共益費	0		0	0	0	
その他	20,000		20,000	2,437	17,563	
修繕費	126,000	81,708	207,708	207,708	0	予算：指定額
公租公課	53,093	0	53,093	53,093	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	53,093		53,093	53,093	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	31,228,093	81,708	31,309,801	26,763,328	4,546,473	
差引	0	△ 81,708	△ 81,708	△ 2,926,523	2,844,815	

自主事業費 収入	2,000	0	2,000	0	2,000	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	552,164	△ 252,164	
自主事業 収支	△ 298,000	0	△ 298,000	△ 552,164	254,164	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大口目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: ニツ橋地域ケアプラザ

R2年4月1日～ R3年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	12,480	12,029	451	26,925	19,100	7,825	72,916	68,696	4,220
	その他	0	0	0	0	29	-29	79	69	10
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	29	-29	35	12	23
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	44	57	-13
	収入合計(A)	12,480	12,029	451	26,925	19,129	7,796	72,995	68,765	4,230
支出	人件費	5,834	5,223	611	16,675	13,683	2,992	52,712	55,098	-2,386
	事務費	21	65	-44	64	39	25	233	391	-158
	事業費	93	160	-67	1,028	903	125	21,015	21,683	-668
	管理費	0	0	0		0	0	0	0	0
	その他	5,174	5,292	-118	0	0	0	20	49	-29
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	20	49	-29
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	業務委託費	5,174	5,292	-118	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	11,122	10,740	382	17,767	14,625	3,142	73,980	77,221	-3,241	
収支 (A)-(B)	1,358	1,289	69	9,158	4,504	4,654	-985	-8,456	7,471	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ほしの☆サロン	H16	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	近年の核家族化や地域社会での人間関係の希薄化を受けて友達づくりや相談できる交流の場を提供する。	3：養育者及び乳幼児		フリータイム。人形劇やリトミックなどの月ごとのイベント。毎月第4金曜日（8月12月を除く）コロナ禍で不特定多数の集会が困難で中止とする。	0	0
2	ちびっこルーム	H23	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏場の行き場の少ない未就園児と保護者の交流の場を提供し、乳幼児と接する機会の少ない学生ボランティアの福祉教育の場とする。	3：養育者及び乳幼児	4：子ども・青少年	水遊び。コロナ禍で水遊びの危険性が判明せず中止とする。	0	0
3	親子でぎゅーっととスキンシップ	H21	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育てのプロである保育園の先生による、乳幼児と保護者へ遊び方の紹介や、悩みの相談ができる場を提供する。	3：養育者及び乳幼児		瀬谷区内保育園の指導者よりリズム遊び、音楽遊び、パラバルーン絵本の読み聞かせ、手作りおもちゃの紹介など1月1回の予定だったが参加者に手作りおもちゃや育児のレシピの配布と変更した。	1	7
4	来て！みて！知って！遊ぼう事務局	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就学児と保護者を対象に瀬谷区内の子育て支援の場を紹介。	3：養育者及び乳幼児		瀬谷区内の子育て支援の紹介イベントの企画、実施。年1回だがコロナ禍で実施を見合わせた。	0	0
5	小学生福祉講座	H28	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生を対象とした聴覚障害や視覚障害、身体上の障害などを体験することで、思いやりの心をはぐくむ。	4：子ども・青少年		高齢者疑似体験、手話体験等。年2回の予定だったがコロナ禍で中止。	0	0
6	小学生と保護者の体験講座	H31	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域に係りにくい就労世帯である小学生の親が地域の中で交流するきっかけとなる講座を開催。	5：地域	4：子ども・青少年	小学生と親向けのスポーツ体験等。コロナ禍で小学校と連携できず中止。	0	0
7	高齢者サロン「友楽会」	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	近隣住民の高齢者とした高齢者サロンを開催し、介護予防、交流、などのプログラムを通じて孤立を防ぎ、生きがい、心身機能の維持向上をめざす。	1：高齢者		座ってできる体操、歌声喫茶、保育園との交流等。毎月第1木曜日（8月1月を除く）10:00～12:00の予定だったが不特定多数の集会が困難のため中止。	0	0
8	男のボランティアとなり組事務局	H14	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	高齢者世帯のお困りごとに対応する男のボランティアとなり組の事務局支援	1：高齢者		毎月第1金曜日の定例会。ボランティアコーディネート。	9	206
9	地元でボランティアデビュー講座	H29	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	地域の活動に繋がらないボランティアに興味のある住民が気軽に活動を始める機会として開催する。	5：地域		シニアボランティアポイント講座、消防署職員講師の応急手当講座。	2	21
10	障害理解講座	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害のある方が地域の中で生活するために地域住民向け障害理解の講座を開催する。	5：地域		二ツ橋高等支援学校教諭より講義の予定だったがコロナ禍で講師の都合で中止。	0	0
11	ボランティア交流会	H19	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	活動中のボランティアのスキルアップと活動の振り返りとなる講座と、交流の場を提供する。	5：地域		活動紹介、交流、スキルアップ講座。年1回の予定だったがコロナ禍での活動について4回に分けて実施。	4	42
12	音の駅	H19	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	5つのケアプラザ共催で、各ケアプラザが地域の会場と連携し、実施する。	5：地域		コンサート、ケアプラザの周知。年1回の予定だったがコロナ禍で中止。	0	0
13	ふたちちゃんカフェコンサート	H28	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	多世代交流とケアプラザの周知を図る。	5：地域		コンサート、ケアプラザの周知、ボランティア活動の紹介。年1回の予定だったが飛沫感染など対策不十分で中止。	0	0
14	フリースペース	R2	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	貸館の空いている時間に誰もが集えるフリースペースを開放し、普段立ち寄る機会の少ない方にケアプラザを身近に感じてもらう。	5：地域		ボードゲーム、本の貸出。不定期開催の予定だったがどなたでもという不特定多数の利用困難で中止。	0	0
15	ふたちちゃん文庫	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	図書館まで足を延ばしにくい乳幼児の家族が気軽に本を借りられる場所を提供。	3：養育者及び乳幼児	5：地域	図書の貸出、管理。コロナ禍で特にいけない子育て世代より貸出希望あり。	1	2
16	利用団体懇談会	H20	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	貸館団体へ利用上の注意事項を伝える。また団体同士の交流の場を提供し、福祉活動の意義を伝える。	5：地域		貸館利用についての説明。団体紹介、交流。年1回の予定だったがコロナ禍での利用についての説明懇談会を3回に分けて実施。	3	26
17	せやカローリング交流会	H23	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	瀬谷区で盛んなスポーツを通して各地域の活動団体が交流を図る	1：高齢者	2：障害児・者	区域で活動している団体の交流試合。コロナ禍で中止。	0	0
18	障害者の集う場「スタイルF」	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害のある方が地域の中での滑動を通して地域の担い手と交流する。	2：障害児・者	5：地域	スポーツ、音楽体験、季節行事。偶数月1回	6	132
19	さとまつり	H20	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	障害のある方も気軽に参加できる地域の祭りの支援。	5：地域		交流は事務局、ステージ振興。包括は出店。7月1回の予定だったがコロナ禍で開催中止。	0	0
20	宮沢サマーフェスタ	H29	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	連合全体のお祭りの支援を行うことで顔の見える関係づくり、地域支援。	5：地域		交流は連合、包括は民生の支援。コロナ禍で中止。	0	0
21	マスクをかけたままで楽しむ音楽の集い	R2	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍で活動が困難な貸館利用団体や地域の歌声サロンの活動再開のモデルとして開催。	1：高齢者	5：地域	マスクをかけたままで楽しむハミング、歌当てクイズ、歌物語、リズム遊び等。申込制の2部制で実施。	2	30
22	誰もがゲートキーパー講座	R2	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	自殺したい人に寄り添い防止することを身近な地域の支援できるように地域の担い手である民生やボランティアなどへ傾聴の実践と講義。	5：地域		神奈川県社会福祉士会と区高齢・障害支援課と共催。前半はゲートキーパーとはの講義。後半は実践研修。	1	19
23	エンジェルエクササイズ	R2	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍で外出の機会が減り、特に育休中の親が孤立しがちなため、横のつながりができるように実施する。	3：養育者及び乳幼児		リトミック、自己紹介交流	1	14

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
24	ニューAgeカフェ	R2	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍で外出の機会が減った50～60代へ地域での交流の場を紹介することで、地域の中で居場所が少ない世代がコロナ禍でも新しい生活様式に合わせた交流を通して新しい地域人材の発掘の場として開催する。	1: 高齢者	5: 地域	自宅でもできる体操とマスク着用でのカフェタイム	1	5
25	珈琲ボランティア育成講座	H31 (R元)	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	平成29年よりカフェコンサートボランティアの自主化を目指す。	5: 地域		今年度自主化にむけて担い手に声をかけて了承を得ていたところ、代表が呼吸器系の持病があるため自主化が困難に。今後どのように再開するか、自主化についても検討中。	6	24
26	コロナに負けない おうち時間で元氣じょうず 三ツ境地区	H28	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛生活から高齢者の運動の機会減少や食生活の偏りなど生活習慣の悪化が多くみられ、介護のリスクが高まっている。そこで主に宮沢地区の高齢者を対象に、自主的にご自宅等で取組める介護予防の実践方法を提供する機会を設け、普及啓発を行う。	1: 高齢者		第1回 ロコモティブシンドローム予防講座 第2回 口腔講座 第3回 栄養講座	3	11
27	コロナに負けない おうち時間で元氣じょうず 宮沢地区	H28	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛生活から高齢者の運動の機会減少や食生活の偏りなど生活習慣の悪化が多くみられ、介護のリスクが高まっている。そこで主に宮沢地区の高齢者を対象に、自主的にご自宅等で取組める介護予防の実践方法を提供する機会を設け、普及啓発を行う。	1: 高齢者		第1回 ロコモティブシンドローム予防講座 第2回 口腔講座 第3回 栄養講座	3	13
28	にこにこサロン健康教室	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	瀬谷第四地区地域サロン「にこにこサロン」と共催で介護予防教室を行う。にこにこサロンに通う参加者及び担い手に対し、ロコモティブシンドローム予防の取り組みの習得と意識啓発を目的に開催する。	1: 高齢者		(1)ロコモティブシンドロームとは。 (2)ロコモ予防のための自宅でもできる体操の紹介	1	25
29	太陽の会フォローアップ講座	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	本事業を通じて、新型コロナウイルスの影響で長らく活動を自粛していた太陽の会のメンバーや地域の高齢者が自身の体力を把握し、自主的かつ目標や課題意識をもって介護予防に取り組む動機付けを行うことを目的とする。また地域の高齢者に対し、介護予防グループを紹介することで介護予防に資する通いの場への社会参加促進を行う。	1: 高齢者		新しい生活様式に配慮した体力測定会(五種目)	1	17
30	お口から健康を見直そう	R2	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	本講座は「だれみなPJ」のメンバーである瀬谷第四地区保健活動推進員と言語聴覚士が連携し、保健活動推進員(以下「保活」と記す)の自主活動として開催する。コロナ禍で保活の活動が難しいため、新しい生活様式で開催できる手法を提案、支援することを目的に当ケアプラザも参画する。さらに本事業は瀬谷第四地区が推奨するICT活用による地域活動のモデルとなることを視野に実施する。	5: 地域		言語聴覚士による講座 口腔機能向上で認知症予防	1	13
31	認知症サポーター養成講座	H20	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域で認知症の理解啓発を進めるため、キャラバンメイトが主催となり、認知症サポーター養成講座を実施する。出前講座として実施し、認知症になっても安心して生活できる優しい地域づくりに取り組む。	5: 地域		認知症疾患、認知症サポーターについてなど講話や寸劇を通じた啓発。年2～3回。	1	125
32	介護者のつどい「いっぶくの会」	H20	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護をしている方に対し、介護に関する情報を提供し、また介護者同士が交流することでお互いに支えあい、介護負担の軽減につなげる。	5: 地域		情報提供と介護者交流 奇数月に開催(年6回)	3	23
33	シニアライフ講座	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢化、核家族化が進む中、人生の終い支度である“終活”や“老い支度”などへの関心が高まっている。“終活”や“老い支度”に必要な情報提供を行う。	1: 高齢者	5: 地域	年2～3回程度 (成年後見、施設などについて)	2	25
34	エンディングノート講座	H27	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	これまでの人生や自身の考え、趣向等を自ら振り返りかえり、残りの人生について、ご家族とともに話し合うきっかけづくりをする。	1: 高齢者	5: 地域	・年1回程度	2	48
35	地域出張出前講座	R2	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の自治会、町内会等の団体に対して、ケアプラザが出張で実施できる講座についてチラシ等でお知らせし、申込をいただいで開催する。	1: 高齢者	5: 地域	介護予防、健康体操、介護保険制度、エンディングノート、ケアプラザの機能などをお品書きとして配り、申込をもらい実施する。	1	15
36	事業所出張研修	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護保険事業所に対して、職員研修の際にケアプラザとして実施できる講座をチラシ等でお知らせし、申込をいただいで実施する。	6: 事業者	6: 事業者	介護保険制度、介護予防、高齢者虐待防止などをお品書きとして配り、申込をもらい実施する。	0	0
37	認知症ミニ講座	H25	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	『身近なところで、身近な医師が、身近な認知症の話をする講座』として、各地域ケアプラザエリアで開催。	5: 地域	1: 高齢者	認知症と思われる症状が見られた場合、身近な存在であるかかりつけ医にも相談できること、またどのように相談したらよいか、どのような検査ができるのかなど。	1	10